

令和5年（2023年）度 学校経営シラバス

北海道鶴川高等学校

めざす学校像	めざす生徒像
1 生徒のより良い自己実現を目指し、絶えず研鑽に励み、専門性を高め、質の高い教育活動の実践に努めるとともに、生徒が「行きたい」と思う学校づくりに努める 2 学校課題の解決を図るため、地域や専門機関等との連携を図りながら、積極的に教育活動の改善・充実に努める 3 学校経営参画意識の高揚を図り、組織体としての機能を高め、協働体制の確立に努める 4 連携型中高一貫教育等の充実に努め、地域から信頼され、「生かしたい」と思われる学校づくりに努める 5 地域や保護者等との連携・協調に努め、教育環境の整備に努めるとともに、保護者が「行かせたい」と思う学校づくりに努める 6 学校における働き方改革「北海道アクション・プラン」を推進し、その具現化を図る	【学校教育目標】 一人ひとりの個性を伸ばし、明るく豊かでたくましい人間を育成する 【育成したい生徒像】 ○ グローバル化する社会の一員としての基礎的な資質・能力を身に付け、地域社会に貢献できる人間の育成 ○ 自己の特性や能力を最大限に伸ばさせ、主体的にたくましく生き抜くことができる人間の育成 【育成を目指す資質・能力】 <生きてはたらく知識・技能> ○ 基礎的な知識・技能 ○ 情報活用力 <思考力・判断力・表現力> ○ コミュニケーション力 ○ 課題設定・解決力 ○ 批判的思考力 <学びに向かう力・人間性> ○ 自己理解・成長力 ○ 他者とチームで活動する力 ○ 組織に求められる人間性

<令和5年度 学校経営の重点目標>

- ◎生徒の可能性を最大限に引き出す学校づくり～生徒の多様性に対応する個別最適な『学びの場』の形成と推進～
- 多様化する生徒への理解の深化と教育相談・生徒指導体制の充実
- 本校教育活動の特徴を活かした「社会に開かれた教育課程」の深化・進化（地域のハブ機能含）
- 地域等との連携による自己実現を図るためのキャリア教育の一層の充実
- 地域や保護者等への本校の魅力や価値、教育成果の積極的な周知及び普及
- 教職員の主体的な資質・能力の向上を支える「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた効果的な研修の推進
- 校内外のきめ細やかな形成的評価による学校課題の継続的な検証

職	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教 育 活 動	学習指導	◎ICTの活用を踏まえた基礎学力の定着と学力の向上	○「主体的・対話的で深い学び」の実践 ○社会に開かれた教育課程の充実 ○「令和の日本型教育」に示された個別最適な学びと協働的な学びを支えるICTの有効活用	□生徒による授業評価の実施・分析を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」に係るアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善（探究的な学びの方向性） □説明責任に応える教科シラバスに基づいた授業の実施及び、本校で育成を目指す資質・能力に基づくキーループリックに沿った観点別評価の実施 □教科横断単元配列表の作成と活用による教科横断型学習の計画的実施 □地域をキャンパスとした探究的な学び「むかわ学」及び、地域をキャンパスとし生徒の特性や能力を伸張させる「チャレンジ・ステイ」の効果的な実施 □個別最適な学びと協働的な学びの実践を支える一人一台端末の活用
	生徒指導	◎社会性と自律性、主体性を培い、社会で生きるための基礎的な力の育成	○社会性と自律性、主体性の向上を図るための支援の充実 ○いじめ撲滅へ向けた取組の徹底	□新しい時代を生き抜く人材を育成する観点から、生徒・保護者・地域との共通理解と対話による校則の見直し □導入期指導の確実な実施及び、TPOに応じたマナーや、公共の場でのふるまいの自覚と実践 □生徒の主体性を育成する生徒支援の実践及び、ICTの積極的な活用 □本校生徒の実態に即したCSTの実践 □お互いに人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える人間関係の形成を通じた、いじめ撲滅の取組
	進路指導	◎自己実現を図るために自己を伸ばさせる力の育成	○キャリア教育の視点を踏まえた進路支援計画の改善、充実 ○生徒の進路探究の深化及び、希望を確実に実現させるための進路学習等の一層の充実	□本校で育成を目指す資質・能力に基づく進路シラバスの改善と確実な運用、及び「面接の達人」の改善 □生徒及び保護者の大学進学に係る意識の啓蒙の充実及び進路意識の高揚を図るための効果的な情報提供や進路学習の実施 □生徒の希望進路や興味関心に基づいた「チャレンジ・ステイ」における個別最適な学びの充実

		○地域等との連携によるキャリア教育の一層の充実	□キャリア支援における ICT の積極的な活用及び、公営塾と協力した個別最適な学びの充実 □地域の企業等と連携した「デュアルシステム」やインターンシップの充実
健康・安全指導	◎心身の健康増進及び学校安全、環境美化意識の醸成	○多様化する生徒への理解の深化と教育相談体制の充実 ○個別の支援が必要な生徒に対する柔軟な対応の推進 ○健康管理及び学校安全の徹底と災害等に対する適切な対応 ○美化意識の高揚	□SC 等専門家との連携のもと、個に応じた教育相談体制や自殺防止への対応の充実及び、健康・安全指導における ICT の積極的な活用 □個別の支援が必要な生徒の具体的な支援計画・指導計画の作成及び全校体制での支援の徹底 □避難訓練や、各種講演会等の啓蒙活動等を通じた危機管理意識や健康管理に対する意識を高める取組の実施 □生徒による主体的な校舎内外の美化活動の実施
中高一貫教育	◎町教委や中学校との連携による地域社会で貢献できる力の育成	○中高一貫教育の基本理念を踏まえた各種取組の検証と推進	□「むかわスタンダード」を踏まえた（小） 中高の学びの接続 □むかわ学などの探究的な学びの接続の発展・体系化 □中高一貫教育に係るシラバスの見直し □中高一貫教育における ICT の積極的な活用 □連携学習会や中高講演会、ボランティアなど従来の中高連携に係る活動の見直し
学 校 運 営	信頼される学校づくり	○社会に開かれた教育課程及び、「チーム学校」としての教育活動の充実 ○地域や保護者への本校の魅力や価値、教育成果の周知及び普及	□本校で育成を目指す資質・能力を踏まえ、コンソーシアムを活用した地域に開かれた教育活動の充実 □公営塾の活用及び、公営塾スタッフやコーディネーター等との協働体制の充実 □地域みらい留学及び地域みらい留学 365 の効果的活用 □地域住民や保護者等に対する学校公開の実施や、各種報道機関、HP や学校だより、学校説明会、SNS 等を活用した積極的な教育活動に係る情報提供発信の充実 □ポストコロナ期における外部との関わりへの再考と実践
	組織運営	○持続可能性を目指した学校課題の明確化及び課題を解決するための取組の確実な遂行 ○持続可能性を目指した組織的、機能的な協働体制の充実	□中間反省や年度末反省、学校評価等を踏まえた学校課題の明確化及び、具体的な改善方策の策定（カリキュラムマネジメントによる教育活動の評価・改善）と持続可能な改善 □校内研修会を活用した学校課題の解決 □入学生、鶴川中や学区内の中学生・保護者及び町民へのアンケート調査とその分析を踏まえた課題解決 □道外留学生に対する本校の魅力の明確化と生活環境向上支援 □学校経営参画意識の高揚を踏まえた持続可能で、円滑・組織的な業務遂行 □ワーキンググループ解消に伴う分掌業務の検証
	教職員の資質向上	○効果的な研修の推進	□教職員の指導力等の向上を図るための効果的な研修会の実施及び、ライフステージに応じオンラインを含めた校外研修等への積極的な参加の奨励と職員への還元 □教職員の資質能力の向上を図るための人事評価シートを活用した個別面談等の効果的な実施 □日常からの効果的な情報提供等を通じた公務員としての服務規律の厳守にかかる意識の高揚 □教職員自ら生徒に示す積極的なチャレンジ姿勢の創出
働き方改革	◎健康でやりがいを持って勤務する合理的・機能的な労働環境づくり	○「北海道アクション・プラン」の推進	□公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針（時間外の上限を「月 45 時間内、年 360 時間内」とする）の順守 □過去の慣習にとらわれず、本校で育成を目指す資質・能力を重視した教育活動の実施及び、教育活動の再構成 □教師・生徒双方において自己を高めるための学校外の時間の確保